学年	中学2年	教科	英語	科目	英語	単位数	6
教	科書名	• Blue	Sky 2 (啓林館)	副教材名	・NEW TREASURE STAGE ・NEW TREASURE 文法問 ・NEW TREASURE 文法問 ・NEW TREASURE 英達語 ・NEW TREASURE 英単語 ・NEW TREASURE 英単語 ・NEW TREASURE 英単語 ・※上記は全て Z 会 ・ENGLISH SEARCH グラマートレーニング I ・ENGLISH SEARCH グラマートレーニング II ※上記は全て教育	題集 STAGE 1 · STAGE 1 · STAGE 2 · STAGE 2	GE 2
コーフ	ス・クラス	Γ	中高一貫				

## I. 目標

- ・ 英語を通して、相手の言うことを理解し、自分の考えなどを伝えられるようにするために、その土台となる語彙と 英文法の基礎を固める。
- ・ 英語はコミュニケーションツールであることを理解し、積極的に使ってみようとする態度を育てる。

# Ⅱ. 授業のねらい

英検3級レベルのスキルの獲得を目標とする。

Listening、Speakingの面では、ALT との授業等を通して英語で日常的な会話をし、英語体験を楽しめるようにする。 Reading、Writingの面では、特に教材を活用し、海外と自国の文化に関心をもたせるとともに、英語を正しく理解し、英語で表現するための語彙と文法の基礎固めを目指す。

#### Ⅲ. 授業の進め方

- ・ 毎回のレッスンの予習を授業用ノートに行い、授業を受け、そのノートに要点を記入する。その後、文法問題集用ノートを使って復習を取り入れる。
- ・ 単語テストを定期的に実施する。
- 「読む、書く、聞く、話す」の4技能をバランスよく学習する。

※各自、以下の2冊のノートを用意する。

# ① 授業用ノート

- 授業の予習、復習に使用する。
- ・ 一番上に Lesson のタイトルを記入する。
- 左ページに本文と単語を書く。右ページに例文と板書事項や授業でのポイントを書く。

#### ② 文法問題集用ノート

- ・ 復習として副教材の問題集に取り組む。
- ・ 繰り返すことにより、学習内容の定着をはかる。

- NEW TREASURE ENGLISH SERIES の活用について
  - 1) Introduction
    - 各レッスン冒頭にそのレッスンの学習の要点を確認する。
  - 2) Grammar in Use
    - ・ 本文(Scene)は主にそのセクションで学習する文法事項を用いた英文を含め、日常を想定した場面での表現を広げる題材として扱う。音読・対話練習を行う。
    - ・ "Key Point"は例文を通して文法事項を学習する目的で扱う。
    - ・ "Use & Check"はそのセクションで学習した文法事項の練習と定着の目的で扱う。
  - 3) Read
    - 主に読解力と、さまざまな文化に対する興味・関心を育てる題材として扱う。
  - 4) その他
    - ・ "Pronunciation" は発音習得の目的で扱う。
    - ・ "Action" はプレゼンテーション等を実施する際の題材として扱う。
    - ・ "Word Square"は各テーマに即して語彙力を広げる目的で学習する。
  - ④ 上記以外の補助教材の活用について
    - ENGLISH SEARCH グラマートレーニング I II、NEW TREASURE 英単語 STAGE1 2、は補助教材として家庭学習、また各講習にて活用する。

#### IV. 学習上の留意点

- 授業で学習したことは、家庭学習をして復習すること。その際、学習したことのポイントを確認し、特に反復練習を意識して行うこと。
- ・ 提出物の期限は必ず守ること。
- ・ 各試験返却後は、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。

#### V. 定期試験

副教材テキストの NEW TREASURE ならびに授業で学習したことを中心に出題する。

1 学期中間試験: NEW TREASURESTAGE 1Lesson 11~121 学期期末試験: NEW TREASURESTAGE 2Lesson 1~22 学期中間試験: NEW TREASURESTAGE 2Lesson 3~42 学期期末試験: NEW TREASURESTAGE 2Lesson 5~63 学期学年末: NEW TREASURESTAGE 2Lesson 7~8

※ 授業の進度により定期試験の試験範囲は変更する場合がある。

## VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
	4	⟨NEW TREASURE STAGE 1⟩	• 定期試験	・学習した語彙や文法事項を
		Lesson 11 There is [are] $\sim$ の文	• 単語テスト	用いて、自他の考えや出来事
	5	There is [are] $\sim$	・小テスト	を英語で伝え合えるように
		否定文・疑問文	(Speaking テストや暗	なる。
		数や量の多少を表す表現	唱テストを含む)	
			・提出物	・「読む、書く、聞く、話す」
		Lesson 12 比較	• 授業態度	の 4 技能をバランスよく学
		原級を用いた比較の文		習し、英語をコミュニケーシ
		比較級を用いた比較の文		ョンの道具として使うこと
		最上級を用いた比較の文		ができる。
		疑問詞を用いた比較の文		
	6	⟨NEW TREASURE STAGE 2⟩		
一学期		Lesson 1 接続詞① 感嘆文		
	7	[復習]		
		等位接続詞		
		命令文, and / or ~		
		時を表す接続詞 / 感嘆文		
		Lesson 2 接続詞② 助動詞表現		
		条件・理由・譲歩を表す接続詞		
		接続詞 that		
		Shall I [we] $\sim$ ? / Will you $\sim$ ? /		
		have to		
		※ その他、週に1回をベースにオ		
		ンライン英会話を実施する。		
		V ) 1 V )(Allie 2)(Me) V 00		
	9	⟨NEW TREASURE STAGE 2⟩	• 定期試験	・学習した語彙や文法事項を
二学期		Lesson 3	• 単語テスト	用いて、自他の考えや出来事
	10	文型 (SVC/SVOO/SVO)	・ 小テスト	を英語で伝え合えるように
			(Speaking テストや暗	なる。
		Lesson 4 不定詞	唱テストを含む)	
期		名詞用法の不定詞	• 提出物	・「読む、書く、聞く、話す」
		副詞用法の不定詞	• 授業態度	の 4 技能をバランスよく学
		形容詞用法の不定詞		習し、英語をコミュニケーシ
				ョンの道具として使うこと
				ができる。

	11	Lesson 5 動名詞		
		動名詞の文		
	12 不定詞と動名詞 / 慣用表現			
		Lesson 6 受動態 受動態 (疑問文、否定文、助動詞) 疑問詞を用いた受動態の疑問文 by 以外を用いる受動態 SVOO, SVOC の受動態 ※ その他、週に1回をベースにオンライン英会話を実施する。		
	-	A TOTAL MODELA OF TOTAL OFFICE		<u> </u>
	1	⟨NEW TREASURE STAGE 2⟩	• 定期試験	・学習した語彙や文法事項を
	2	Lesson 7 現在完了	・単語テスト	用いて、自他の考えや出来事
	3	完了・結果を表す現在完了	・小テスト	を英語で伝え合えるように
		経験を表す現在完了	(Speaking テストや暗	なる。
		継続を表す現在完了	唱テストを含む)	
		現在完了進行形	・提出物	・「読む、書く、聞く、話す」
三学期			• 授業態度	の 4 技能をバランスよく学
		Lesson 8 名詞 / 不定代名詞 /		習し、英語をコミュニケーシ
		再帰代名詞		ョンの道具として使うこと
		名詞の種類		ができる。
		不定代名詞		
		再帰代名詞		
		※ その他、週に1回をベースにオ ンライン英会話を実施する。		

<sup>※</sup> シラバスの内容 (時間や事項) については、理解度やその他の都合により変更することもあります。